

蕁麻疹

蕁麻疹は、ほろせ、とも言われ、皮膚が赤く、少し盛り上がったような状態となり、みみずばれ、と表現されることもあります。蕁麻疹は、数時間で、症状の出没を繰り返すのが特徴です。例えば、朝、体にみみずばれができて、病院に来たが、診察時には、消失している。あるいは、朝、できていた所のみみずばれは消えているが、他の場所にできているといった経過があれば、診察時に皮膚症状が認められなくても、ほぼ蕁麻疹であると診断されます。アトピー性皮膚炎などの蕁麻疹以外の皮膚炎では通常一日以内に皮膚症状が消失することはありません。

蕁麻疹の原因としては、牛乳や卵、大豆、タケノコなど食物によるものがよく知られています。牛乳や卵が原因の場合は、牛乳を飲んだ後、あるいは、卵を食べた後、10分ないし15分ぐらいで蕁麻疹が出現するため、比較的自分でもわかりやすいことが多いようです。それ以外にも種々のタイプの蕁麻疹があります。

運動で誘発されるタイプの蕁麻疹は午後の体育の時間に走っていると蕁麻疹が出現するような場合で、原因としては、小麦アレルギーの方が多いのですが、パンのような小麦製品を食べるだけでは蕁麻疹は出現しません。運動することにより蕁麻疹が誘発され、食物依存性運動誘発性の蕁麻疹として最近注目されています。学生の方は学校で運動中に出現することが多く、大人でも、朝食にパンを食べ出勤中に電車に乗り遅れそうになり、走った後に蕁麻疹が出現したと言ったケースがあります。

感染アレルギーによる蕁麻疹は、かぜなどの症状に引き続いて蕁麻疹が出現するもので、ウイルスや細菌が蕁麻疹を誘発しているケースです。この場合は比較的重症化することが多く、今まで、蕁麻疹になったことがないのに、突然蕁麻疹が全身にできる場合は感染アレルギーによる蕁麻疹であることが多いようです。

花粉症の方は、フルーツを食べると蕁麻疹が出現したり、口が腫れることがあります。この場合は花粉・フルーツ症候群と呼ばれる反応です。

このように蕁麻疹と言っても種々のタイプの蕁麻疹が存在し、原因により治療法は異なりますので、単なる、ほろせ、と考えて放置せずに皮膚科を受診されることをおすすめします。

(文責：森田秀樹)